



捜査の手順

①既存のペアの確認

どの個体とどの個体がペアになっているかをチェックする。個体識別はペンギンの翼(フリッパー)についているフリッパーバンドの色の組み合わせで行っている。



ペンギンのペア。仲良く巣の中に見えるように見えるが本当は？…

②ペア同士に共通のマーキング

ペンギンの腹部にペア同士で共通のマーキングを行う。マーキングは市販の白髪染めを使用。

※染まった羽根は換羽の時期にすべて生え変わるのでご安心を。



試験的にマーキングしたペンギン。腹部にアルファベットの「Z」とペイント。

③事務所のモニターで目視観察

ペンギン飼育担当の事務所には水槽内を映した映像が見られるモニターがある。そこでつがい同士の交尾回数、つがい“外”での交尾回数を産卵まで記録する。



事務所にあるモニター。違うマーキング同士のペンギンが交尾をしていたら浮気・不倫だ！

ペンギンたちの浮気・不倫現場を押さえる！

真実はいつもひとつ！

ペア同士で共通のマーキングをして浮気・不倫調査を開始

ペンギン類は一般的に一夫一妻だと考えられているが、近年の研究ではペア以外との交尾(つがい外交尾)が生じていることが明らかになっている。名古屋港水族館でもジェンツーペンギンでつがい外交尾の目撃情報があるが、どの程度生じているか把握できていない。仮に高頻度で生じていた場合、ペンギンたちの血統管理の根幹が揺らぐ可能性がある。そこで、ペア同士に共通のマーキングをし、モニターでペアの行動を観察をするという試みが始動した。

担当飼育係の声

現在、生まれてきたペンギンのヒナは観察されているペアを雄親、雌親として記録している。そのため、つがい外交尾が頻繁に行われると、生まれてきたヒナがそのペアの子ではないう可能性も高くなってしまう。その場合には今の血統管理が怪しくなってくる。毎日モニターとらめつこのが続く非常に根気のいる作業になるが、この結果を今後の正確なペンギンたちの血統管理に活かしていきたい。調査結果についてはまだ皆さんにお知らせできないかなと思っております。

△その他情報

この浮気・不倫調査は非常に単純明快。マーキングの違うペンギン同士が交尾をしていたらそれは浮気・不倫の現場だ。あなたも探偵になった気分です。ペンギンたちの行動を観察してみたいか？